

あなたもチャレンジ! 家庭菜園 種のまき方

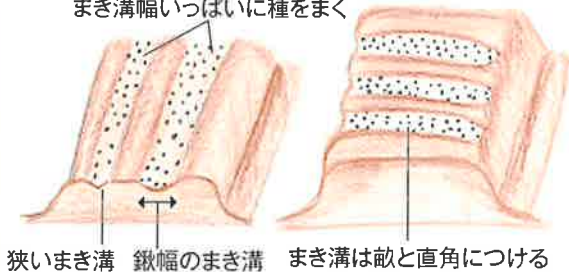
ナス、トマト、ピーマンなど果菜類の野菜は苗を育てて植え付けるのが一般的です。一方、ホウレンソウ、ニンジンなど葉根菜類の野菜は、種をまいて栽培します。

種の大小、まき場所などの条件によって、種のまき方は変わってきます。大きく分けて、次の三つの方法があります。

条まき(条播)

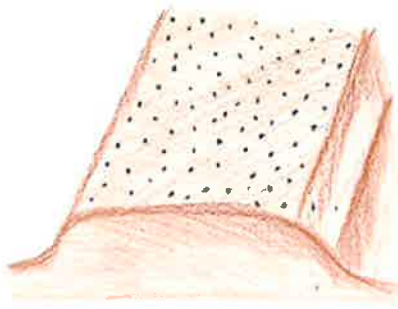
畝に鍬で浅くまき溝をつけ、溝内に適当な間隔で種をまきます。まき溝は、畝に沿ってつける場合と、畝と直角につける方法があります。種が大きいもの、葉茎に十分光を当てたい野菜に適します。

まき溝幅いっぱいに種をまく



はらまき(散播)

ていねいに表面をならした畝面全体にまく方法で、小型の野菜(ホウレンソウ、ツケナ)などに適します。



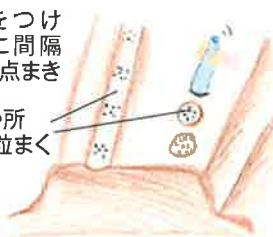
覆土しにくいので、種を鎮圧後にふるいなどで土をかける

点まき(点播)

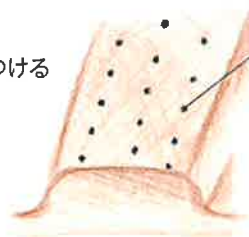
ダイコンやハクサイなど、大型に育つ野菜をしかまきするときに適しています。1か所3~6粒ずつを、種の間をあけてまきます。

まき溝をつけ
その中に間隔
をあけて点まき

1か所
3~6粒まく



瓶などで
まき穴をつける



〈千鳥まき〉
種をジグザグ
にまきつける。
1か所に複数の
種をまく